

平成30年度「住まいに関する意向調査」

【対象】①2020年3月末で応急仮設住宅の供与が終了する富岡町及び浪江町の全域、並びに葛尾村及び飯館村の帰還困難区域からの避難世帯 2,762世帯(平成30年10月1日時点)

②2020年4月以降の供与について今後判断することとしている大熊町及び双葉町からの避難世帯 1,290世帯(平成30年10月1日時点)

【内容】応急仮設住宅供与終了後の住まいの意向や課題について郵送等により実施

【結果】

4,052世帯のうち3,212世帯が回答（回答率79.3%）
※平成31年2月28日時点取りまとめ

県内：2,787世帯のうち2,286世帯（回答率82.0%）
県外：1,265世帯のうち 926世帯（回答率73.2%）

◎全体

住まいの意向	見通しが立っている	見通しが立っていない	未回答
県内	942	1,344	501
2,787	(33.8%)	(48.2%)	(18.0%)
借上等	800	1,268	465
2,533	(31.6%)	(50.0%)	(18.4%)
建設型	142	76	36
254	(55.9%)	(29.9%)	(14.2%)
県外	284	642	339
1,265	(22.5%)	(50.7%)	(26.8%)
計	1,226	1,986	840
4,052	(30.3%)	(49.0%)	(20.7%)

※見通しが「立っている」には、退去済みの130世帯を含む

【課題】

- ・生活資金 : 約16%
- ・住宅が見つからない : 約 8%
- ・どうしてよいか分からない : 約 8%
- ・保証人（民間賃貸住宅） : 約 5%
- ・自宅の修繕 : 約 4%
- ・解体の見通しが立たない : 約 2%
- ・その他 : 約17%
- ・特に問題ない : 約50%

※複数回答あり

【今後の取組】

- ・住まいの見通しが立っていない世帯や未回答の世帯を中心に戸別訪問等を実施。
- ・早い段階から住まいの見通しを立てていただけるよう、住まい探しのサポートや転居等に関する支援を実施。

①富岡町及び浪江町の全域、並びに葛尾村及び飯館村の帰還困難区域

住まいの意向	見通しが立っている	見通しが立っていない	未回答
県内	661	866	371
1,898	(34.8%)	(45.6%)	(19.6%)
借上等	577	830	346
1,753	(32.9%)	(47.4%)	(19.7%)
建設型	84	36	25
145	(57.9%)	(24.8%)	(17.3%)
県外	210	422	232
864	(24.3%)	(48.8%)	(26.9%)
計	871	1,288	603
2,762	(31.6%)	(46.6%)	(21.8%)

②大熊町及び双葉町

住まいの意向	見通しが立っている	見通しが立っていない	未回答
県内	281	478	130
889	(31.6%)	(53.8%)	(14.6%)
借上等	223	438	119
780	(28.6%)	(56.1%)	(15.3%)
建設型	58	40	11
109	(53.2%)	(36.7%)	(10.1%)
県外	74	220	107
401	(18.4%)	(54.9%)	(26.7%)
計	355	698	237
1,290	(27.5%)	(54.1%)	(18.4%)